

答 申 書

～留辺薬自治区内事業の今後のあり方について～

平成22年12月
留辺薬まちづくり協議会

平成22年12月17日

北見市長 小 谷 每 彦 様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 戸 田 健 司

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成22年8月30日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

留辺蘂まちづくり協議会は、平成22年8月30日、北見市が策定する総合計画前期基本計画等における「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市」を目指すため、それぞれの基本目標に掲げられた分野別の施策ごとに、自治区別整備方針に沿えるよう、地域課題を確認しながら特色ある自治区づくりを目指すため協議を重ねてきました。

議論の進め方については、既の実施されている事業、及び実施計画で採択されている継続事業41件と第3次実施計画に新たに登載する予定の新規事業13件について担当から説明を受け、これに対する質疑を行い、さらに委員相互の意見交換を行ったうえで、事業の必要性、単に要求だけの提案をするのではなく、北見市の厳しい財政状況を勘案するとともに、事業それぞれの費用対効果などを検討しながら意見を取りまとめたところであります。

答申として述べた地域課題は、いずれも序列をつけがたいものがありますが、自治区として優先的に必要とする事業を明確に位置づけております。

市長におかれましては、第3次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますとともに、下記の事項に配慮していただきますよう答申します。

記

1. 快適で過ごしやすい生活環境を創造することは、市民全ての願いであり、住みたいまちの条件でもあります。安全で安心して暮らすことができるよう、市民生活の基礎を支えるための取り組みを期待します。
2. 産業の振興は、地域の活性化に欠かせません。恵まれた地域資源を積極的に活用し、産業基盤を強化するとともに雇用の場を確保し、地域の特性を生かした産業や産物を北見市の魅力として発信し、全国的な広がり結びつけていくことを期待します。
3. 事業の実施にあたっては、主旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し広く理解や協力を得るとともに、多くの市民の参画を求めながら事業に取り組まれるよう期待します。
4. 市の行財政を取り巻く状況は、国の各種制度改革などにより大きく変わってきています。
これらの変化に対応し、限られた財源や人材を最大限有効に活用できるよう、既存の行政システムの見直しと財政の健全化を図り、コスト削減に努めながら、市民にとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくために、徹

底した行財政改革を推進されますよう期待します。

5. これから整備を予定している施設については、市民の意向を反映するため企画立案段階から多くの市民の参画を求めるとともに、既存の施設も含めて、多くの市民が多角的に利用することができる機会づくりなど、ソフト事業にも工夫を凝らし有効に活用されることを期待します。

【留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について】

留辺蘂らしさについて

留辺蘂自治区は、無加川流域の肥沃な大地で営まれる農業と、豊かな森林資源を活かした林業・林産業、そして、温根湯温泉郷を核とした観光を中心に発展してきました。

農業では、作付面積日本一を誇る「白花豆」、林業・林産業では、国内有数の生産量を誇る「経木」のほか、間伐材を活用した集成材や木材加工品、クラフト製品、観光では、温根湯温泉郷を核として年間約60万人の観光客が訪れ、オホーツク圏域の玄関口としての役割を果たしております。

今、地方を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況ではありますが、北見市にある豊かな資源を最大限に活かし、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、機能を分担しながら北見市全体の均衡ある振興発展に努める必要があります。

記

- 1 旧留辺蘂町は、国民体育大会弓道競技の開催が決定した昭和56年に「福祉とスポーツの町」を宣言し、安心して楽しい生活ができる地域、社会づくりとスポーツを通じて健全な青少年の育成を願い、町民同士がその意義を確かめながらまちづくりを進めてきました。

福祉では、社会福祉協議会を中心にボランティア団体等の協力により地域の福祉活動が推進され、特に、大和地区・瑞穂地区では、ノーマライゼーションエリアの指定を受け、高齢者や障がいを持った人と健常者が共にノーマライゼーションの理念に基づきながら、地域ぐるみで行事やボランティア活動に取り組んできたところであります。

今後も、地域住民がお互いに協力しながら自治区全体で「福祉とスポーツでまちづくり」を基本目標として進めていくことが必要です。

- 2 観光は、オホーツク圏域の西の玄関口という立地条件に恵まれ、明治32年の開湯から111年を有する温根湯温泉郷を核に発展してきました。

しかし、長引く景気低迷の影響により温泉街の衰退などによる魅力の低下、宿泊客の低迷等多くの問題を抱えていたことから平成20年度から温根湯温泉街再生整備事業が進められておりますが、当協議会としても着実に進めるべき事業として認識しております。

今後においては、人口減少に伴い日本人観光客の増加が見込めないことから、国際化の進展により、増大する外国人観光客の誘致など海外へ向けての積極的なPR活動を行うことが必要と考えます。また、地域の歴史や文化、祭り等の観光資源の重要性を再認識し、地域の特色ある観光素材を生かしたソフト面の充実を図り、温根湯温泉街に賑わいを取り戻すことを期待しているところであります。

基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

○おんねゆ温泉つつじ公園整備事業

○2条橋周辺広場整備事業

○温根湯温泉街再生事業事後評価事業

おんねゆ温泉つつじ公園のトイレ整備については、公園利用者からも早急な整備が望まれていることから、着実に整備を進めるべきと考えます。

2条橋周辺広場整備事業については事業最終年度となりますが、着実に整備を進め、事業完了後の日常の管理については、観光施設として相応しい施設となるよう徹底管理に努め、多くの方々に来てよかったと喜んでいただけるような施設となるよう期待をするものです。

温根湯温泉街再生事業事後評価事業については、今後、観光振興につながるような検証を行うべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺蘂自治区河川改修事業

基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺蘂町中央公民館冷房器設置工事

中央公民館は留辺蘂の社会教育の中心的機関として、地域住民の生活ならびに文化の向上に大きな役割を果たしています。

現在、公民館には冷房設備が設置されておりませんが、特に、講堂並びに小ホールについては、講演会等のイベントに使用されることが多く、暑い日などは室温が30度以上になることもあるため利用者からも改善の要望が多い状況です。

平成23年4月1日より使用料が改定される予定となっておりますが、これまで減免措置などで実質、料金負担がなかった個人及び団体についても料金を負担することになりますので、料金を徴収するのに見合った設備が必要と考えます。

なお、附帯意見として、2階講堂の机と椅子については昭和52年の開館当時に購入したもので、非常に重たく一人で持ち運びができない状況です。特に高齢者からは改善の要望が多いことから早急に改善していただきますようお願いするものです。

○留辺蘂図書館床暖配管取替修繕

留辺蘂図書館は、幅広い年代の方に利用されており、生涯学習の場として重要な役割を果たしています。

建設後17年が経過しており、各所で老朽化が進んでいる状況ですが、床暖房等については耐用年数も過ぎていることから計画に基づき早急な改善が必要と考

えます。

○学校給食機械設備整備事業

学校給食については、子供たちの食育推進を図るうえでは欠かせないものです。消毒保管庫については、安全な給食を提供するためには必要なものですので計画的に更新すべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○給食配送車購入（更新）事業

基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○保育所整備事業

保育園を整備するにあたっては、建設場所や施設規模について園児や保護者に十分配慮しながら進めるべきと考えます。

なお、地材地消の推進のためにも木材を活用した施設整備を考慮すべきものと考えます。

○温根湯温泉地域放課後児童対策事業

社会情勢の変化等により家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。特に就労や社会参加を希望する女性が増加する中、子育てと仕事の両立を支援する環境づくりは特に必要と考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○福祉バス更新事業（留辺蘂自治区）

基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○道営担い手支援畑総事業留辺蘂温根湯地区

農業を取り巻く諸情勢が年々厳しくなっていく中で、担い手経営者の育成強化を図るための事業は最優先に実施すべき事業と考えます。

○道営経営体育成基盤整備事業（畑地帯）大和地区

水は、日々の生活に欠くことのできない大切な資源であり、安全で良質な水を安定的に供給することが求められております。水道未普及地域の整備に向けて関係機関と連携しながら計画的に整備を進めるべきと考えます。

○道営担い手支援畑総事業留辺薬平里地区

水は、日々の生活に欠くことのできない大切な資源であり、安全で良質な水を安定的に供給することが求められております。担い手農家の経営安定を図るとともに地域の水不足を解消する事業は最優先に実施すべき事業と考えます。

○からくりハト時計塔「果夢林」整備事業

故障中の遊具を放置しておくことは、観光地としてのイメージを損ねるものであるため早急に整備すべきと考えます。

また、ハト時計塔については設置後15年が経過しているため、人形を変えるなどの工夫も必要と考えます。さらに、現在、1時間ごとにハトが出演し演奏しておりますが、出演時間を短縮するなどの工夫も必要と考えます。

○石北峠観光看板等整備事業

石北峠は北見市、オホーツクの玄関口としての役割を担っています。現在、峠の頂上付近には観光看板が設置されていないことから、公共のサイン整備については積極的に進めるべきと考えます。

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

- まちづくり活動推進地場産品開発事業
- 農業振興施設整備事業
- まちづくり活動推進講師派遣・研修事業
- まちづくり活動推進散策マップ作成事業
- 湯の里めぐりレンタサイクル（社会実験）
- 3坪店舗催事イベント（社会実験）
- 山の水族館移転改築
- 温根湯温泉街観光案内看板設置事業
- まちづくり活動推進景観形成事業

温根湯温泉街再生整備事業については既に事業に着手しているものもありますが、地域資源を活かした観光地として魅力ある温泉街形成を目指すため、地場産業の活用や観光施設など官民一体となった取組みを図る必要があると考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 道営明渠排水事業 留辺薬地区
- 道営基幹水利ストックマネジメント事業 留辺薬地区
- 道営経営体育成基盤整備事業（畑地帯）留辺薬瑞穂地区
- 滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

- (温根湯温泉街再生整備関連事業)

○おんねゆ温泉つつじ公園進入路改良事業

○留辺薬町左岸道路改良舗装

○1条橋架替工事

つつじ公園進入路については、今年度より事業に着手されますが関係機関と連携しながら着実に事業を進めるべきと考えます。

左岸道路については事業最終年となりましたが、着実に進めるべきと考えます。

また、この道路は現在通行止めとなっていますので、早期に工事に着手され、完成すべきと考えます。

1条橋延長工事についても今年度より事業に着手されますが、関係機関と十分協議し着実に進めるべきと考えます。

○無加川松山橋解体事業

通行に危険であると判断されているので、期限までに速やかに撤去すべきと考えます。

○留辺薬既設市営住宅塗装事業

公営住宅については、年次計画に基づき順次建設をしておりますが、建て替えに至らない住宅については、年次計画に基づき良好な住宅の保全に努める必要があると考えます。

○金華浄水場施設整備事業

水は、日々の生活に欠くことのできない大切な資源であります。安全で良質な水を安定的に供給するためには、年次計画に基づいて着実に事業を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺薬自治区草刈装置購入事業

○留辺薬町旭西1号通り、2号通り、3号通り整備事業

○留辺薬町旭西4号通り道路整備事業

○留辺薬町鉄南5号・10号通り道路整備事業

○留辺薬町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業

○3・4・5中央通り交通安全対策事業

○留辺薬町国体通り道路整備事業

○留辺薬町東3号裏通り道路整備事業

○留辺薬自治区舗装道補修事業

○留辺薬自治区道路維持パトロール車整備事業

○留辺薬町紅葉山線維持事業

○留辺薬町温泉通り・東4条通りオーバーレイ事業

○留辺薬既設市営住宅給水管改善事業

○留辺薬既設市営住宅改善事業

○留辺薬町下水道管理センター整備事業

- 留辺薬自治区歩道除雪車整備事業
- 留辺薬自治区雪寒補助建設機械等更新事業

【早期に取り組むべき事業】

- 留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業

基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

- 留辺薬まちづくりパワー支援事業

市民のボランティアやまちづくりへの参加啓発につながる事業として平成19年度より実施され、当協議会も審査に関わっておりますが、今後も市民活動団体へのPRに努めるなど積極的にまちづくり活動を推進すべきと考えます。

また、事業最終年となることから効果を十分検証することが必要です。

【協議会の意見】

○自治区制度の今後のあり方について

平成18年3月に合併し、4年9ヶ月が過ぎました。合併による地域住民の不安を解消するため北見市独自の方式で、自治区設置条例を制定し、自治区制度、総合支所、まちづくり協議会をそれぞれに設置しました。地域の歴史や文化、特性などを尊重し、それぞれの機能を分担しながら地域づくりを進めてきましたが、少しずつではありますが、新市として一体感が生み出され、また、自治区制度も確立されつつあります。

今後も新市としての一体感を醸成することは勿論大事なことです。同様にそれぞれの自治区で取り組まれてきた機能や個性的な地域づくりもしっかりと継承しなければなりません。

○今後の地域課題

- 1 自治区制度をより充実していくためには、住民と行政が情報を共有し、知恵を出し合いながら自主的・主体的な取組みを促進していくための仕組みづくりが必要です。

北見市自治区設置条例第10条では、自治区長は、自治区の円滑な運営と均衡ある発展に資するよう、市長その他の市の機関及び自治区の区域内の公共的団体等との緊密な連携を図るとともに、総合支所及び協議会に関し、これを統理するとなっています。

今後においては市の憲法を守り、自治区長の権限が最大限発揮され、多様化する市民ニーズに即応できるような仕組みづくりを検討する必要があります。

- 2 留辺蘂自治区内は、留辺蘂市街地、温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区に分かれておりますが、特に過疎化が進んでいる温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区の公共施設を整備する際には、地域の拠点施設として、新たな市民ニーズへの対応や利便性の向上を考慮するとともに、幼児からお年寄りまであらゆる世代の人たちが利用することができるよう複合化施設として整備すべきと考えます。

留 迎 薬 ま ち づ くり 協 議 会 開 催 状 況

1. まちづくり協議会

協議回数	開催日	場 所	内 容
1	8月30日(月) 午後6時30分	中央公民館	諮問 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
2	10月28日(木) 午後6時30分	中央公民館	説明 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
3	11月4日(木) 午後6時30分	中央公民館	議題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
4	11月16日(火) 午後6時30分	中央公民館	議題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
5	11月25日(木) 午後6時30分	中央公民館	議題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
6	12月1日(水) 午後6時30分	中央公民館	議題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について

留辺薬自治区要望事業一覧

1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

(5) 快適な生活空間の整備

1	おんねゆ温泉つつじ公園整備事業(温根湯再生)	トイレ水洗化工事
2	2条橋周辺広場整備事業(温根湯再生)	広場整備(モニュメント、外構、温泉管)
3	温根湯温泉街再生事業事後評価事業(温根湯再生)	まちづくり評価委員会設置経費、専門的な事後評価の調査分析委託方法書作成経費など

(6) 緑豊かな自然環境の整備

4	留辺薬自治区河川改修事業	普通河川の調査設計及び護岸改修工事
---	--------------	-------------------

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(2) 生涯学習の充実

5	留辺薬町中央公民館冷房器設置工事	2階講堂及び1階小ホール冷房器設置、空調設備工事一式、電気設備工事一式
6	留辺薬図書館床暖配管取替修繕	床暖配管取替修繕

(4) 小中学校教育の充実

7	給食配送車購入(更新)事業	給食配送車1台購入
8	学校給食機械設備整備事業	電気式消毒保管庫3台購入

3. 支えあい・一人ひとりを大切にするまちづくり

(2) 地域福祉活動の促進

9	福祉バス更新事業(留辺薬自治区)	福祉バス1台購入
---	------------------	----------

(4) 児童福祉の充実

10	保育所整備事業	基本・実施設計委託、建設
11	温根湯温泉地域放課後児童対策事業	フレンドセンター設置による経費(嘱託職員等賃金、光熱水費、消耗品等)

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

12	道営担い手支援畑総事業 留辺薬温根湯地区	畑地かんがい施設 電気計装(ポンプ施設含む)1式、管路L=47,668m、区画整理A=7.0ha、暗渠配水A=52.5ha、土層改良A=130.9ha、リールマシン 1式、農道(改良・舗装)L=1,986m
13	道営明渠排水事業 留辺薬地区	道営事業計画樹立費 1式 排水路調査設計 L=1,600m
14	道営基幹水利ストックマネジメント事業 留辺薬地区	道営事業計画樹立費 1式 排水路調査設計 L=350m
15	道営経営体育成基盤整備事業(畑地帯)留辺薬瑞穂地区	道営事業計画樹立費 1式 調査設計(暗渠排水1式、土層改良1式)
16	道営経営体育成基盤整備事業(畑地帯)大和地区	営農用水施設調査設計 導水管路、送水管路、配水管路整備、浄水施設 1箇所、配水施設 1箇所
17	道営担い手支援畑総事業 留辺薬平里地区	送水管路 L=3,652m、送水施設(ポンプ施設) 1箇所、 電気計装施設1式、 【単独分】配水管φ20mm～φ25mm L=1,100m

18	まちづくり活動推進地場産品開発事業(温根湯再生)	地場産品開発研究費
19	農業振興施設整備事業(温根湯再生)	農村公園土壌改良及び花木植栽

(7) 新たな観光資源の活用

20	まちづくり活動推進講師派遣・研修事業(温根湯再生)	専門家、アドバイザー等の講師謝礼(報償費)
21	まちづくり活動推進散策マップ作成事業(温根湯再生)	散策マップ・観光パンフ(改訂版)の作成(散策マップ50,000部、観光パンフ20,000部)
22	湯の里めぐりレンタサイクル(社会実験・温根湯再生)	レンタサイクル用自転車の借上げ
23	3坪店舗催事イベント(社会実験・温根湯再生)	プレハブ借上げ費(5店舗分)、看板費
24	山の水族館移転改築(温根湯再生)	新水族館建設工事、連結施設改修工事、地下水調査及び井戸掘削工事、休憩施設及びドッグラン施設整備、外構工事、旧館解体工事、跡地駐車場整備、調査設計、移転経費、標本及び備品購入
25	温根湯温泉街観光案内看板設置事業(温根湯再生)	国道39号からつつじ公園及び花エール・花公園根々の丘、温根湯温泉街観光施設等に誘導する看板を設置する。(看板の意匠を統一する)
26	まちづくり活動推進景観形成事業(温根湯再生)	郷土木苗代、客土、資材費等
27	滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業	滝の湯泉源2号井、3号井温泉ポンプの更新
28	からくりハト時計塔「果夢林」整備事業	体験遊具修理 からくりハト時計整備
29	石北峠観光看板等整備事業	観光看板整備及び休憩所危険防止柵整備

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(2) 道路網の整備

30	留辺蘂自治区草刈装置購入事業	草刈装置購入
31	留辺蘂町旭西1号通り、2号通り、3号通り整備事業	調査設計 L=370m、改良・舗装 L=370m W=5.5m
32	留辺蘂町旭西4号通り道路整備事業	調査設計 L=181m、改良・舗装 L=181m W=5.5m
33	留辺蘂町鉄南5号・10号通り道路整備事業	調査設計 L=200m、改良・舗装 L=200m W=5.5m
34	留辺蘂町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業	調査設計 L=260m、改良・舗装 L=260m W=5.5m
35	3・4・5中央通り交通安全対策事業	電柱架空型の照明灯の設置 8基
36	留辺蘂町国体通り道路整備事業	調査設計 L=600m、歩道改築(舗装部のみ)L=600m×2、公共施設案内板1基、街路灯改築 11基(塗装・架空配線)、植樹 87本
37	留辺蘂町留辺蘂訓子府線道路整備事業	改良・舗装 L=420.96m W=6.0m
38	留辺蘂町東3号裏通り道路整備事業	調査設計 L=181m、改良・舗装 L=181m W=5.5m
39	留辺蘂自治区舗装道補修事業	市道舗装オーバーレイ及び市道全線の舗装道穴埋め等の補修
40	留辺蘂自治区道路維持パトロール車整備事業	4輪駆動車(SUV型1台購入)
41	留辺蘂町紅葉山線維持事業	調査設計委託、補修工事

42	留辺薬町温泉通り・東4条通り オーバーレイ事業	調査設計 L=1,400m、オーバーレイ工事 L=1,400m
43	おんねゆ温泉つつじ公園進入路 改良事業(温根湯再生)	用地購入・補償事務、改良・舗装工事 L=750m
44	留辺薬町左岸道路改良舗装(温 根湯再生)	改良・舗装 L=260m
45	1条橋架替工事(温根湯再生)	委託、下部工事、仮設工事、用地購入費、移転補償費、上部工事、護岸取付 道路工事、旧橋撤去工事、移転補償、橋梁実施設計、橋梁延長工事
46	無加川松山橋解体事業	解体撤去工事 L=33m W=4.6m

(4) 良好な住宅・住環境の創出

47	留辺薬既設市営住宅塗装事業	市営住宅の塗装工事(上町団地)
48	留辺薬既設市営住宅給水管改善 事業	市営住宅の給水管取替工事(公園団地)
49	留辺薬既設市営住宅改善事業	住戸内の浴室ユニットバス化・3箇所給湯設備・内窓プラストサッシ化・換気 設備改修

(5) 水道の安定供給と下水道の整備

50	金華浄水場施設整備事業	導水ポンプ場実施設計調査・建設工事、導水管実施設計調査・布設替工事、 配水地実施調査設計・建設工事
51	留辺薬下水道管理センター 整備事業	曝気装置改良工事、管理棟・水処理棟耐震補強実施設計委託、水処理棟耐 震補強工事、管理棟耐震補強工事、最終沈殿掻寄席機更新、汚泥ポンプ改 良工事

(6) 除排雪体制の強化

52	留辺薬自治区歩道除雪車整備事 業	歩道除雪車80PS級 1台
53	留辺薬自治区雪寒補助建設機械 等更新事業	除雪ダンプトラック更新 1台

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(5) 住民自治の推進

54	留辺薬まちづくりパワー支援事業	5人以上の団体が行う、安心安全な地域づくり、地域の生活環境の改善、自 然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域 の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築な どのまちづくり活動事業に対し補助する。
----	-----------------	--

【留辺薬まちづくり協議会委員】

[委嘱期間H22. 6. 14~H24. 6. 13]

	氏 名
委 員	荒 武 文
委 員	飯 田 仁 美
委 員	石 井 加代子
委 員	石 田 敏 明
委 員	今 泉 元 宏
委 員	遠 藤 登志子
委 員	岡 村 利 夫
委 員	小野寺 裕 之
委 員	笠 原 信 廣
委 員	菊 池 達 也
委 員	島 道 子
委 員	菅 波 正 樹
委 員	橘 秀 俊
◎会 長	戸 田 健 司
○副 会 長	横 田 正 純

50音順